

令和8年3月分 清水税関支署管内 貿易概況（速報）の要旨

1. 清水港

輸出総額は2,013億円（対前年同月比4.6%の増加、比率ベース：6カ月連続の増加）、輸入総額は1,098億円（同1.4%の減少、2カ月ぶりの減少）であった。差引額は916億円（同13.0%の増加）の輸出超過となった。

品目別では、輸出は「加熱用・冷却用機器」、「科学光学機器」などは減少したものの、「自動車の部分品」、「写真用・映画用材料」、「非鉄金属」などが増加した。輸入は「重電機器」、「魚介類及び同調製品」などは増加したものの、「液化天然ガス」、「有機化合物」、「がん具及び遊戯用具」などが減少した。

地域別では、輸出は「アジア」が増加、「アメリカ」、「EU」は減少した。輸入は「アジア」、「アメリカ」が減少、「EU」は増加した。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
清水港	2,013億円	+4.6%	1,098億円	▲1.4%	916億円	+13.0%
	6カ月連続の増加		2カ月ぶりの減少			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車の部分品	160億円	+21.5%	輸入	増加品目	(1) 重電機器	36億円	+83.6%
		(2) 写真用・映画用材料	64億円	+69.1%			(2) 魚介類及び同調製品	171億円	+9.6%
		(3) 非鉄金属	53億円	+58.9%			(3) 事務用機器	24億円	2.0倍
	減少品目	(1) 加熱用・冷却用機器	35億円	▲48.5%		減少品目	(1) 液化天然ガス	58億円	▲40.5%
		(2) 科学光学機器	73億円	▲29.7%			(2) 有機化合物	37億円	▲16.7%
		(3) 船舶類	0.3億円	▲98.4%			(3) がん具及び遊戯用具	16億円	▲30.7%
主要地域増減	アジアが増加、アメリカ、EUは減少				主要地域増減	アジア、アメリカが減少、EUは増加			

（参考）ドルレートは、156.60円（前年同月比4.7%、7.05円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したものの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。

2. 田子の浦港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
田子の浦港	9億円	+28.9%	26億円	+0.3%	▲18億円	▲9.3%
	6ヵ月ぶりの増加		2ヵ月ぶりの増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 写真用・映画用材料	5億円	+56.7%	輸入	増加品目	(1) 石炭	8億円	全増
		(2) 金属鉱及びくず	2億円	2.0倍			(2) パルプ	2億円	+19.7%
		(3) 無機化合物	80百万円	+60.8%			(3) —	—	—
	減少品目	(1) 精油・香料及び化粧品類	19百万円	▲84.8%		減少品目	(1) とうもろこし	11億円	▲36.7%
		(2) 糖類及び同調製品・はちみつ	21百万円	▲49.8%			(2) 魚介類及び同調製品	50百万円	▲68.5%
		(3) 自動車の部分品	6百万円	▲37.4%			(3) 有機化合物	4億円	▲16.4%
主要地域増減	アジア、EUが増加、アメリカは減少				主要地域増減	アメリカ、アジア、EUは減少			

3. 御前崎港

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額 (▲は輸入超過)	伸率
御前崎港	374億円	+47.8%	48億円	+49.6%	326億円	+47.6%
	7ヵ月連続の増加		16ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 自動車	149億円	+80.2%	輸入	増加品目	(1) 自動車	21億円	全増
		(2) 自動車の部分品	91億円	+56.3%			(2) 木材及びコルク	3億円	703倍
		(3) 二輪自動車類	14億円	+54.8%			(3) 有機化合物	3億円	3.4倍
	減少品目	(1) 楽器	25億円	▲16.9%		減少品目	(1) 鉄鋼	7億円	▲54.7%
		(2) 重電機器	13百万円	▲85.0%			(2) 調製石油添加剤	4億円	▲24.3%
		(3) 運動用具	12百万円	▲64.5%			(3) 木製建具及び建築用木工品	87百万円	▲13.1%
主要地域増減	アジア、EUが増加、アメリカは減少				主要地域増減	アジア、EUが増加			

4. 静岡空港

輸出入実績なし